

達成度：H31.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

学校教育課の目標（平成30年度）自己評価書

学校教育課長 玉井 清人

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 児童生徒の個性を生かす教育と生き生きとした学校生活の創造</p> <p>(1) 創意ある教育課程の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各校の課題を明確にし、授業改善に取り組むことによって、学力向上に努めます。 ② 少人数指導により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。 ③ スクールボランティア等外部人材の活用を推進し、総合的な学習の充実を図ります。 ④ スクールサポート指導員を配置し、特色ある教育活動を支援します。 ⑤ 学校評議員を活用した学校評価の実施に取り組みます。 ⑥ 小学校「私たちの道徳」の活用を図り、教科化に向けての準備を進めます。 ⑦ 小学校5・6年の英語の教科化に向けての準備を進めます。 <p>(2) 保育園・小学校・中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「心の教育推進会議」を開催し、各学校における生徒指導の一層の充実と学校間の連携を図ります。 ② 適応指導教室（ふれあいルーム）の児童生徒の支援を図ります。 <p>(3) 人権・同和教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各学校の担当者による会議を開催し、教職員研修や各学校の実践の充実を図ります。 	<p>4</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>次年度も教職員のさらなる授業改善を図ります。</p> <p>人的配置が充実し、推進できました。</p> <p>ボランティアの人材確保を今後も課題とします。</p> <p>各校で特色ある教育活動が展開できました。</p> <p>学校評価を実施し、意見を取りまとめています。</p> <p>今後研修の充実が課題です。</p> <p>次年度の教育課程を工夫するよう学校へ指導しています。</p> <p>小中連携事業により3校で連携して生徒指導対応できました。</p> <p>二人の指導員が生徒のカウンセリングや学習支援をよく行えました。</p> <p>3校の担当者が集まり、情報交換しながら学校教育全体で推進しています。</p>

<p>② 大室台小学校、酒々井小学校を推進校として指定し、教職員の指導力の向上に取り組みます。</p> <p>③ 「小中学生人権作文集」や「酒々井町の人権・同和教育」を編集・刊行し、教職員、児童生徒、保護者の意識高揚に努めます。</p>	<p>5</p> <p>5</p>	<p>大室台小学校で人権教育授業研究会を開催し、地域や県内に人権教育を啓発できました。</p> <p>各学校の実情に合わせて、担当者が校内で研修の中心になって推進しています。</p>
<p>2 社会の変化に対応した学校教育の推進</p> <p>(1) 情報化・国際化に対応した学校教育の推進</p> <p>① 電子黒板やコンピュータなどのICT活用を推進し、教育的効果を高める工夫を講じます。</p> <p>② ALTを活用し、外国語学習・国際理解教育の推進に努めます。</p> <p>③ 中学校の生徒を海外に派遣し、ホームステイや体験活動を通して、国際化に対応できる人材育成を図ります。</p> <p>(2) キャリア教育の推進</p> <p>① 「キャリア教育推進協議会」を設置し、職場体験学習など学校教育への組織的な支援を行います。</p>	<p>3</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>今後、さらなるICT活用を検討していきます。</p> <p>ALTの活用をさらに図り、英語力の向上に努めます。</p> <p>英語力の向上と併せて、さらなる国際理解教育の推進を図ることが今後の課題です。</p> <p>町商工会との連携により、体験型のキャリア教育の推進を図りました。さらなる充実を目指し、今後も推進します。</p>
<p>3 教職員の資質や指導力の向上</p> <p>(1) 不祥事根絶に向けて、教職員に高い倫理観の意識継続を図ります。</p> <p>(2) 道徳や小学校外国語の教科化に向けた教職員一人一人の指導力の向上をはかります。</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>不祥事根絶研修及びモラルアップ委員会を計画的に実施し、高い倫理観の意識向上を図りました。</p> <p>英語専科教員の導入により、児童の英語力に加え、担任の指導力の向上も図ることができました。</p>
<p>4 教育条件の整備</p> <p>(1) 「豊かな心を育むCTSプラン」や「教職員の特色ある教育研究支援事業」を通して、各学校の特色ある教育を支援します。</p>	<p>4</p>	<p>CTSプラン・特色ある教育研究支援事業によって、学校独自の特色ある教育活動を推進することができています。</p>

<p>チャレンジ目標</p> <p>(1) 千葉県的人事評価制度の適切な運用がなされるよう各校に指導し、評価が業務に反映するように意識を高めます。</p> <p>(2) 国際交流派遣事業（オーストラリア・ドイツ派遣）の見通しある事業推進に努めます</p> <p>(3) 中学生の英語検定を積極的に支援します。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>適切に実施することができました。今後は、教員の育成へとつながるような進め方を検討していきます。</p> <p>適切に実施することができました。</p> <p>パワーアップE事業の開始により、英検3級以上の取得率が、中学3年生の34.8%となっています。</p>
--	----------------------------	---